

令和7年度第6回箕面市障害者市民施策推進協議会において時間の都合で回答できなかった意見

	該当箇所	意見	検討結果 (新市立病院整備課)
1	全体	多文化共生を掲げている箕面市だが、JCI基準への対応：国際的な病院認定機関である jointcommission International の基準を満たす設計（感染管理、患者安全、防災機能）となっていますか。府まちづくり条例に止まらず、様々な国籍、移住者の方々が安心してしうできる設計にしてほしい	JCI基準を満たす設計は想定していませんが、国籍を問わず来院者の皆様が安心できる病院となるよう関係条例、法令に基づき感染管理や医療安全、防災機能について設計に反映します。
2	全体	プライバシーと快適性：病院は個室化（シングルケアルーム）が進んでおり、患者の回復と家族の参加（アメニティ重視）を促す設計が国際的に主流ですが、入院スペースに関して帯同される家族が滞在できるスペースはどのようになっているか。	病室は状況に応じ付き添いによる入院も可能な全室個室の計画となっています。ご家族が付き添いで滞在される場合は、必要な備品の貸出しを想定しています。
3	全体	情報システムと効率化：高度な医療ITインフラ（電子カルテ、画像診断システム）を支える情報インフラに基づいたスタッフの動線を最適化した効率的な配置となっているか。	電子カルテやスマートデバイスをはじめとした医療情報システムを効果的に活用することで、患者さんや職員の利便性向上が期待できます。それを念頭に置いた設計や運用の検討を進めていきます。
4	全体	検討結果の5, 6, 7 回答が巧妙に避けられている印象を受ける。四角い建物、グリット上にしておけば、汎用性が高いので、どうにでも設計調整化が可能であると捉えられます。平面図から、「病院＝ケアの現場」を考慮された本質的な設計思想を感じ取ることができません。	敷地形状、高低差を含め規模、病院機能を総合的に考慮して最も合理的な形状、配置計画になるよう設計を進めています。
5	全体	現在の建築コンペでは、3Dでのプレゼンテーションは一般的でありそれが設計者によって提案されていないとはどういうことでしょうか。市としてプロポーザル内容と審査内容を公開していただきたい。	設計者選定時に外観等の3D画像の提案を受けています。また、選定委員会の審査結果及び講評、落札者の提案概要については市ホームページにて公表しています。なお、本設計業務は必要に応じて3Dを活用しながら検討を進めています。